

# 宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成21年度決算に基づく各数値は・・・

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準（イエローカード）を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化基準	財政再生基準	備考
	平成21年度	平成20年度			
①実質赤字比率	—	—	12.55%	20.00%	一般会計等の実質収支は約14億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.55%	40.00%	全会計の実質収支は、約20億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	11.5%	12.5%	25.0%	35.0%	【1.0ポイント改善】 公債費等の減少が主な要因です。
④将来負担比率	109.9%	120.4%	350.00%	/	【10.5ポイント改善】 借入金残高の減少が主な要因です。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化基準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

## ○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標（①～④）のうちいずれかが、早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を策定し、自主的かつ計画的に財政の健全化に取り組むこととなります。

## ○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標（①～③）のうちいずれかが、財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定し、国等の監督の下、確実な財政再建に取り組むこととなります。

# 宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約14億円の黒字

(単位：千円)

区分	対象会計	実質収支額		
		平成21年度	平成20年度	増減(H21-H20)
実質赤字比率の対象	① 一般会計等	1,494,388	1,032,668	461,720
	② 国民健康保険事業特別会計	16,179	12,570	3,609
	③ 老人保健特別会計	6,995	4,576	2,419
	④ 介護保険特別会計	78,222	54,269	23,953
	⑤ 後期高齢者医療特別会計	516	284	232
	⑥ 水道事業会計	392,682	345,996	46,686
	⑦ 公共下水道事業特別会計	3,219	0	3,219
	⑧ 農漁業集落排水事業特別会計	43	199	△ 156
	⑨ 港湾事業特別会計	21,307	0	21,307
	⑩ パブリック事業特別会計 ※H20年度廃止		1,118	△ 1,118
計(①~⑩)		2,013,551	1,451,680	561,871
⑪ 標準財政規模		18,943,607	18,338,883	604,724
実質赤字比率(%) : ①/⑪		△ 7.88%	△ 5.63%	【改善】 2.25ポイント
連結実質赤字比率(%) : (①~⑩)/⑪		△ 10.62%	△ 7.91%	【改善】 2.71ポイント

連結では約20億円の黒字

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は負の値で表示されていますが、黒字であることを意味しています。